

いつだって好奇心 手を伸ばせばそこに本

子どもの読書活動

学校・園の取り組みを紹介します④

園社会教育課 ☎・☎(582)1142 ☎(581)2733

明富中学校

「多くの生徒に親しみを持ってもらえるように」

毎朝、朝学活前に10分間、「アカデミックタイム」という時間を設けています。課題を解いたり、作文を書いたりする活動とともに、「朝読書」の時間が設定されています。誰にも邪魔されることなく、自分の好きな本を落ち着いて読むことができる時間です。また、多くの生徒に図書室へ足を運んでもらうため、読みたい本アンケートの定期的な実施や漫画コーナーの拡充、新着・注目コーナーの設置など、学校司書や図書委員会の力を借りながら、足を運びたくなるような本に触れ、親しみが持てる学校図書館づくりに努めています。



守山南中学校

「一日のスタートは静寂から」

全校生徒数1,000人を超える本校の登校の様子は、ととにぎやかです。午前8時15分になると、それぞれ教室の席に着き、朝読書がスタートします。先ほどまでの喧騒がうそのように静まり、生徒も教員も、思い思いの一冊を手に、しばし本の世界に浸ります。

全校で毎朝行っている朝読書によって、授業や部活動など一日の活動のスタートが、静寂の中から始まり、気持ちの切り替えもできているようです。短いながらも、本に集中できるこの時間を、これからも大切にしていきたいです。



佐川美術館
アートコラム③

意識せずとも心に届く

「アニメーションの背景画」

佐川美術館
学芸員：馬場まどか



「アニメーションの背景画が」

場面の空気感や登場人物の心情を表現することがある

これは山本二三展の資料に目を通していたときに印象に残った言葉です。

アニメという文化は、今や日本を代表する文化の一つでありクールジャパンとも形容され、その影響は世界各国におよんでいます。多くの人は幼少期からアニメに親しみ、育ったことでしょう。私もその一人です。

改めてアニメを考えたときに脳裏によみがえるのは、そのストーリーやキャラクターであって、背景画の重要性を意識したことはそれほど多くありません。しかし実際は、人の心に深く印象を刻みつけるアニメ作品には、背景画の存在が非常に大きく影響しています。それは、山本二三の手掛けたアニメ作品を見ればより実感できると思います。「時をかける少女」を例にとると、夕暮れの情景をバックに主人公が悲しむ切ないシーンでは、刻一刻と沈んでいく太陽が主人公の心情を代弁したり、主人公が強い決意をもって先へ進むシーンでは、上昇気流のつてわきたつ積乱雲が画面一面に描かれていたり、セリフや登場人物がいなくても一つの背景画でストーリーが展開されることがあります。

背景画を意識したことはあまりないと言いましたが、印象的なシーンには背景画が溶け込んでおり、背景画が感動的なシーンを生み出すことで、無意識のうちに背景を意識させ、見る人の心の中に大きな作用を与えていたのです。

展覧会にお越しいただく前に、ぜひとも山本二三の手掛けたアニメを見てください。そして、本展でその原画を見ていただいた後、もう一度アニメを見ていただくと、皆さんの中にきつと新しい気づきが生まれるはずです。